

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	愛ちゃんのおうち		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 20日 ～ 2025年 2月 8日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 8枚
○従業者評価実施期間	2025年 1月 20日 ～ 2025年 2月 8日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 9人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性を活かした療育を行っている。	保育士・看護師・理学療法士・言語聴覚士を配置しており、専門的な視点を取り入れながら活動に取り組んでいる。	他事業所や関係機関と連携を取り、より本人に合った支援ができるようにする。
2	個別活動だけではなく、集団活動を多く取り入れている。	医療的ケア児や重度心身障害児は個別のケアが多く、集団で行う活動の時間を作ることが難しいが、活動の計画を密に行うことで、集団活動を多く取り入れている。	活動内容が画一的にならないように情報を収集し事業所で行うことができるようにアレンジをしている。
3	達成感を感じることができる活動や行事を行っている。	自分たちが製作に関わった商品を保護者や関係機関の方に販売する行事を年1回行っており、商品だけではなく看板やポップなども児童と一緒に考えながら準備している。	児童が興味を持てるような商品や作成方法の情報を収集している。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	研修の参加が難しい	医療的ケア児や重症心身障害児を対象にしている研修は少ない	同様の児童の受け入れを行っている事業所と協力し情報共有や見学等を行っていく。
2	保護者同士が交流できる機会が少ない	事業所の大きさを考えると事業所で行うことが難しい。	地域の貸しスペースなどを活用して他の行事と合わせて行うことも検討している
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 愛ちゃんのおうち

公表日 2055年 3月 24日

利用児童数 2025年 2月 8日 9人

回収数 8枚

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7			1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6			2		
	3	生活空間は、お子様にわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6			2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7			1		
適切な 支援の 提供	5	お子様のことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8					
	6	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7			1		
	7	お子様のことを十分理解し、お子様と保護者様のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	8					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7			1		
	10	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4		1	3		
保護 者へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング（※5）等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5		1	2		
	15	日頃からお子様の状況を保護者と伝え合い、お子様の健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	8					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者様同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	3	1	3		
	19	お子様や家族様からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、お子様や保護者様に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8					

	20	お子様や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者様に対して発信されていますか。	6			2	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7			1	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6			2	
	25	事業所より、お子様の安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7			1	
満足度	27	お子様は安心感をもって通所していますか。	8				第2の我が家様です。
	28	お子様は通所を楽しみにしていますか。	8				
	29	事業所の支援に満足していますか。	8				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
愛ちゃんのおうち		2025年 3月 24日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	3	その日の利用人数に応じて、レイアウトを変更して対応しています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4	5		医療的ケア児の利用が多い時は看護師の人数が足りないと感じることがある。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		玄関前以外、段差はありません。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		活動室・浴室・静養室など活動場所を区分けして活動ごとに使い分けできるようにしています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		各部屋は自由に使用できるようになっています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		毎日の短時間ミーティング、支援会議で随時見直しをしています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		保護者様の意向を随時伺い、業務や支援の改善に努めています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		事業所会議内で意見を集約し必要に応じて改善しています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		9		外部評価を受けておりませんので、今後評価を受けるべく検討をしていきます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	7		発達に関連する書籍の定期購読・職員への外部研修の案内・e-ラーニングを活用した自社での研修の実施しています。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		支援プログラムは、ホームページで公表されています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		日々の関りや保護者様、関係機関からの聞き取りを行い、計画に反映しています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		アセスメントから計画作成、見直しまで支援者会議で全職員が関り作成しています。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		全職員が関わって作成しているため、共有されています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		経過記録を残すことで日々の行動を記録しています。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		ガイドライン及び保護者様の意向をくみとりながら作成しています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		支援会議を開催しています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		個別と集団の両面からアプローチをしています。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		発達状況に応じたプログラムを設定しています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		毎日ミーティングを実施しています。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		スタッフ間の連絡帳や支援記録ソフトなども活用しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		連絡ノートや支援ソフトに記録を残して共有しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		定期的にモニタリングや支援会議を開催しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせず支援を行っているか。	9		4つの基本活動を組み合わせて行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		本人に合った方法で自己決定を促しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		児童発達支援管理責任者及び担当職員が参画するようにしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		随時情報交換を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		年間行事や翌週の授業の内容などを確認し、利用時間等の調整を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9		必要時には行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9		移行先の障害福祉サービス事業所と支援会議を行い情報共有しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9		電話やメール等を活用し行っています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		9		感染症対策の為、控えていたため今後行っていく予定です。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9		開催される研修会等に積極的に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		送迎時以外に、保護者との交換ノートやSNSを活用した情報交換をしています。	
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	5	送迎時以外に、保護者との交換ノートやSNSを活用した情報交換や対応方法を一緒に考えています。	今後ペアレントトレーニングの実施も検討しています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約時に行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		面談により意向の確認等を行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		同意をいただくときは、支援計画を提示しながら説明を行っています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		支援計画作成時と必要に応じて適宜行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		9		交流する機会を設けることを検討しています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		理事長や管理者が窓口となり誠実に対応するようにしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		ホームページやブログを更新しています。また、希望者には写真を送信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		個人情報は鍵のかかる保管庫で管理しています。また、画像については、加工の必要性を保護者様に確認した上で対応しています。	

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		その方に合わせたコミュニケーションツールを活用しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9		年に1回子どもたちが製作した商品を販売する機会を設け、町内会や関係事業所を招待しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	2	職員への周知と訓練実施は行っています。家族等への周知については、訓練実施時に周知しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		定期的に実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		利用開始前その後、年に1回、その他状況が変わったときに確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		食物アレルギーの確認を実施しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		定期的な研修や訓練、安全管理を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	5		周知についてはまだ不十分なところがあるので、今後改善していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		回覧及びミーティング等で共有しています	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		採用時に行っています。また、その他に定期的に外部講師を招いています	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		現状、身体拘束の必要な児童はおりません。	